

2025年（令和7年）

今年も1年お世話になりました！

壬生川地区人口 10月末現在
(前月比)

壬生川公民館だより 12月

男 性 2,191人(+8)
女 性 2,344人(+2)
(合 計) 4,535人(+10)
世帯数 2,247戸(+7)

〒799-1341 西条市壬生川 200 番地
TEL・FAX 0898-64-2202
E-mail nyugawa-k@saijo-city.jp

カラー版は市のホームページ
に掲載しています。こちらから →



11月9日(日)、雨に見舞われましたが、今年度もたくさんの皆様にご参加、ご来場いただき、盛大に開催することができました。



熱く燃えた1日

壬生川公民館文化祭

圧巻のステージ! 真美体操☆Jr.の子どもたち



今年度デビュー、NYU:CREWのお二人と
真美体操☆Jr.の子どもたちとの即興コラボ



力作揃いの作品展



大人気の折り紙体験

バザーコーナーは
今年度も全て完売!



会場全員でトライ!
「壬生川ウルトラクイズ」



小学生の作品も、足を止め、
じっくり鑑賞されていました。

【12月のごみ収集日】当日の朝8時までに決められた場所へ

◆古紙（新聞紙・ダンボール・雑誌・雑がみ）・・・3日（第1水曜日）

◆ガラスびん・ペットボトル・スプレー缶

カセット式ガスボンベ・・・10日（第2水曜日）

お気をつけください!
12月31日(水)から
1月3日(土)まで
ごみの収集はお休みです。

12月の主な行事予定

日	曜	行 事
6	土	休館日 放課後子ども教室〔運動〕（壬生川小学校）
7	日	休館日
9	火	人権相談 13:00～17:00
11	木	青少年健全育成協議会総会 19:30～
13	土	休館日・放課後子ども教室〔AGOであそぼ〕
14	日	白鷺杯レクリエーションバレーボール大会 （壬生川小学校体育館） 9:00～ 公民館大掃除 9:00～
15	月	臨時休館日
17	水	壬生川カフェ（高齢者カフェ） 10:30～
20	土	休館日・放課後子ども教室等〔クリスマス会〕
21	日	壬生川地区防災訓練 8:00～
22	月	臨時休館日
27	土	休館日
28	日	休館日
年末年始休館日 12月29日(月)～新年1月3日(土) ※1月4日(日)は休館日のため、新年は1月5日(月) より開館いたします。		

公民館から臨時休館のお知らせ

12月15日(月)、12月22日(月)は、臨時休館とさせていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。よろしくお願いいたします。

「人権相談所」を開設します!

差別やいじめ、体罰、家庭および近隣関係等、人権問題で悩み事や、心配事がありましたら、ご相談ください。相談は無料で秘密は守られます。

日 時：12月9日(火) 13:00～17:00

会 場：壬生川公民館 学習室 3

相談員：人権擁護委員

東予・丹原・小松地域の方 令和8年西条市二十歳の集い(旧成人式)について(お知らせ)

「令和8年西条市二十歳の集い」が下記のとおり開催されます。地域別の2会場開催となりますのでご注意ください。

1. 日 時 令和8年1月11日(日) <受付> 14時00分～ <式典> 14時30分～

2. 場 所 丹原文化会館（西条市丹原町田野上方2131番地1）

※西条地域の方は総合文化会館(式典:10時30分～)での開催となっております。

3. 対 象 者 平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの方

※市内に住民票がある方には12月中旬に案内状を送付します。

※進学・就職等で市内に住民票がない方も「西条市の二十歳の集い」に出席できますので、希望される方は下記までご連絡ください。

4. 問合せ・連絡先 西条市教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係 電話 0897-52-1254(係直通)

講座・教室等のご案内

『壬生川カフェ』にお越しください!

高齢者をはじめ地域の誰もが立ち寄って話し合いができる「つどいの会」を開催しています。
予約の必要はありません。お気軽にお越しください。

- 日 時：12月17日(水) 10時30分～
- 場 所：壬生川公民館 1階 学習室 3 他
- 持参物：水分補給用の飲み物
- 内 容：レクリエーション・脳トレプリント等
- 問合せ：西条市地域包括支援センター東予 TEL 66-5520

お知らせ

令和7年度

壬生川地区防災訓練

「もしも」の時に備え ぜひご参加を!

▶日 時：12月21日(日) 雨天決行
8時00分～12時00分

▶内 容：
第1部訓練（避難訓練・安否確認訓練）
(対 象) 地域の方
午前8時にサイレンを鳴らします。
各自治会の一時避難所に避難してください。

第2部訓練（避難所での生活体験）
(対 象) 各自治会代表者
二次避難所(壬生川小学校)に避難してください。
避難所で各種体験(けむり体験他)をします。

▶主 催：壬生川地区連合自治会

第4回さわやか人生大学

10月24日(金)、西条西警察署交通課の井上裕司氏を講師にお迎えし、「学んで安心交通安全教室」を開催しました。

正しい交通ルールや、マナー、特に新しく適用となる、自転車の交通違反について教えていただきました。

矢継ぎ早に質問が飛び交い、参加された方々の意識の高さをうかがえました。



敬老の家事業

10月26日(日)、壬生川小学校において社会福祉協議会壬生川支部主催による「敬老の家事業」が開催されました。



高齢者軽スポーツ大会

11月7日(金)、恒例の「高齢者軽スポーツ大会」を開催、熱い戦いが繰り広げられました。一挙手一投足に歓声が沸き上がり、親睦もさらに深まる大会となりました。



チーム編成は、くじで決定

まずは、準備体操！大事です。



『囲碁ボール』初めてスティックを握った方もすぐに慣れゲームを楽しまれています。



『輪投げ』狙いを定めて、集中集中！



『輪投げ』チャンピオン

『囲碁ボール』チャンピオン

壬生川地区別人権・同和教育懇談会

10月31日(金)、壬生川小学校3年生児童が、思いを込めて作った人権標語を、地域の方々の前で、一人一人発表しました。その後、公民館ロビーに掲示、公民館文化祭をはじめ、来館者の皆さんに、ご覧いただきました。



参加者の年齢層					
20歳代	2名	50歳代	0名	80歳代	2名
30歳代	4名	60歳代	5名		
40歳代	6名	70歳代	2名		

児童の標語は、引き続き12月初旬まで壬生川公民館1階ロビーに掲示しておりますので、ご覧ください。

参加された方々の感想

※抜粋

- 標語の中の言葉に、「みんな仲よく」「笑顔」「あいさつ」が多かったと思う。みんなが思っていることが一緒のクラス。ずっといじめのない温かなクラス・学校でいてほしい。
- とても素晴らしい発表であった。それぞれの子どもの思いが友達や地域の人たちに伝われば壬生川や西条がもっと良くなると信じている。
- 多くの児童から出た「笑顔」というキーワードは簡単だけど大事だなと思った。一人一人が標語作りから発表の練習までよく頑張ったことが伝わった。相手のことを考える良い時間を子どもたちに作ってもらった。ありがとう。
- 小学生の素直な気持ちを聞けてよい時間になった。子どもたちにとって周りの人への配慮や思いやりを考える大切な時間だと思った。今の気持ちを大切に、大人に成長してほしい。
- 教室の中での事、学校での事、そして世界平和についての事、一つ一つの言葉や行動で周りが優しい気持ちやうれしい気持ちになると思う。

～毎月10日は人権を考える日～

「手話に関する施策の推進に関する法律」と東京2025デフリンピック

手話に関する施策の推進に関する法律

「手話に関する施策の推進に関する法律」が、令和7年6月25日に公布され、同日施行されました。この法律では、手話を使用する方にとって日常生活や社会生活を営む上で、言語その他の重要な意思疎通のための手段であるとしています。この法をめぐっては、2006年に国連障害者権利条約に手話は言語であると定義され、2011年障害者基本法に手話が言語であると明記されました。これに続いて、初めてとなる手話言語条例が2013年に鳥取県で制定され、現在では約600自治体で条例が成立しています。そのような中、手話施策推進法は議員立法として成立しました。手話に関する施策を総合的に推進するにあたり、次の三つの基本理念が定められています。

- 1 手話の習得及び使用に関する施策を講ずるに当たっては、手話を必要とする者及び手話を使用する者の意思が尊重されるとともに、手話の習得及び使用に関する必要かつ合理的な配慮が適切に行われるために必要な環境の整備が図られるようにすること
- 2 手話が長年にわたり受け継がれてきたものであり、かつ、手話により豊かな文化が創造されてきたことに鑑み、手話文化（手話及び手話による文学、演劇、伝統芸能、演芸その他の文化的所産をいう。）の保存、継承及び発展が図られるようにすること
- 3 全ての国民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資するよう、手話に関する国民の理解と関心を深めるようにすること

東京2025デフリンピック

この法律が施行された我が国で、11月15日から26日までの12日間「東京2025デフリンピック」が開催されます。デフリンピックとは、「デフ」+「オリンピック」で、デフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。デフリンピックは国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」です。聴覚に障がいのあるアスリートが世界の舞台で技と情熱を競い合う国際的なスポーツ大会です。

聴覚に障がいのある人も、音の有無にかかわらず、己の力で高い競技力を発揮できることを示す場として長い歴史を重ねてきました。第1回の大会は、1924年に、フランスのパリで開催されました。我が国では初めての開催です。東京大会は第1回大会から数えて、100周年の記念となる大会になります。オリンピックと同様、4年に1度、夏と冬にそれぞれ開かれます。ルールはオリンピックとほぼ同じですが、聴覚に障がいのある人のために様々な工夫がなされています。

この大会での各競技の熱量と選手たちの人間力は、観る人の心を揺さぶり、誰もが「自分の力で未来を切り拓いていこうとする」勇気を与えてくれます。デフリンピックを理解することは、きこえ方の違いを理由に人を分け隔てるのではなく、それを多様性にとらえる視点を育てます。また全ての市民の皆様が、情報を受け取りやすく、意思決定に参加しやすい環境づくりにつながるものです。デフリンピックは、「誰もが尊厳を持って参加し、才能を開花させ、互いに支え合う社会」の理想を私たちの暮らしの中に引き寄せる鏡です。私たち一人ひとりが、正しい情報を得て理解しようとする姿勢と、常に相手の立場を尊重する姿勢を持つことが、誰もが活躍できる社会を作る第一歩といえるでしょう。



放課後子ども教室



作品は、今年も「公民館文化祭」に出展しました。



10/18『押花』

花選びは、慎重に！



11/1『運動』

学年の枠をこえ仲良く活動！

「お芋を掘ったよ！」大収穫の秋



10月23日(木)、壬生川小学校2年生児童が、地域の方々の手ほどきで、春に植えたさつまいもを掘りました。掘り起こす度、あちこちで歓声が上がっていました。



伊予訛飛び交ふ山路残り萩
天を指す狍犬の尾や豊の秋
一人居の日は暮は淋し鳥渡る
予後の身にしむや新米噛みしめる
女房をたよりに老ゆや冬近し

ひうち句会

(順不同)

矢野 悦子
丸山 英子
岡部 和代
石原 宏子
稲井 卓機